

外国語(英語)科学習指導案

竹原市立竹原中学校
指導者 伊藤 真也
ALT Ivan Hristev
Raven Jackson

- 1 日 時 令和7年10月24日(金) 9:45 ~ 10:35
- 2 学年・学級 1年A組(男子23名 女子16名 計39名)
- 3 単元名 Unit 6 A *Rakugo* Performer from the U.K.
(NEW HORIZON English Course 1)

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領外国語における、「話すこと[やり取り]」のA「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」ことをねらいとして設定した。

本単元は、イギリス出身の落語家であるダイアン吉日さんが取り上げられており、彼女へのインタビュー等を通して、日本の伝統芸能である落語について知識を深めることができる。扱う言語材料としては、代名詞(目的格、所有格)や、疑問詞 *whose*、*which* で始まる文が扱われている。これまで疑問詞 *what*、*who*、*how*、*when*、*where* 等を学習しており、既習事項を活用しながら、関心のある話題について、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝えたり、相手が伝えたことについて関連する質問したり、相手からの質問に情報を付け加えて答えたりしながら、対話を継続・発展させる力を高めることができる単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、外国語科の授業に対して意欲的に取り組む生徒が多く、互いに学び合おうとする雰囲気がある。「話すこと[やり取り]」に関する言語活動においては、既習事項を活用しながら事実や自分の考え、気持ちなどを伝えたり、相手が伝えたことに反応したり、確かめたりしながら、会話を継続させようとする様子が見られる。

Unit3 *Our School* の終了後、7月に実施したパフォーマンステストの結果は次のとおりである。

【パフォーマンステストの課題】

お互いのことをよく知るために、好きな食べ物を話題にして即興で伝え合うことができる。

【採点基準】

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「a」とし、2つの条件を満たしていれば「b」とした。

- 条件1: 自分の好きな食べ物について、即興で、事実や自分の考え、気持ちなど述べている。
- 条件2: 会話の継続のため、相づちを打ったり、確認したりしている。
- 条件3: 相手に質問したり、答えたりしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文で話すことができる。	2つの条件を満たしてやり取りしている。	2つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

【結果】

パフォーマンステストの結果を分析すると、「知識・技能」については、「b」以上を満たしている生徒は33名中22名、67%であった。お互いことをよく知るために、事実や自分の考え、気持ちなどについて、I like strawberry. や My mother cook good. などと誤りが一部あったがコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて伝え合うことができていた。

「思考・判断・表現」については、右の表のような結果となった。

採点基準	人数(割合)
条件1	32名(96.9%)
条件2	23名(69.6%)
条件3	21名(63.6%)

「条件1」について、即興で自分の好きな食べ物について、伝え合うことができた生徒は32名であった。

「条件2」について、ALT の Do you like any fruits?という発話に対して、Oh, yes.や It' s yummy.と相づちを打ったり、反応を示したりするなど、23名の生徒がやり取りすることができていた。

「条件3」については、ALT の I like Hiroshima style okonomiyaki. という発話に対して、Do you like sushi? と、お好み焼きから寿司へと話題を変えながら質問をすることはできていた。しかし、相手の答えに対し、関連する質問ができておらず、ある話題についてやり取りを深めていくことには課題が見られた。また、相手からの Do you like okonomiyaki?という質問に対して、Yes, I do.と答えることはできるが、さらに付け加えて、自分のことを伝えることができた生徒は、6名にとどまった。

このように、パフォーマンステストの結果から、相手からの質問に対して答えるのみで、さらに情報を加えて答えたり、相手が伝えた内容について関連する質問を付け加えたりしながら、会話を継続・発展させることに課題があることが分かった。

(3) 指導観

単元末の言語活動として、「お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて、簡単な語句や文を用いて事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。」と設定する。

指導計画では、教材観・生徒観を踏まえ、やり取りを継続・発展させる力を育成するため、以下の点に留意し、指導する。

① 関連する質問を付け加える力の育成

帯活動における Small Talk において、生徒が興味・関心をもって話したくなるような身近な話題を数多く取り上げ、継続的に「話すこと[やり取り]」に取り組ませる。その際、ALT や教師が生徒と話題についてやり取りを行い、生徒が答えた内容に関連する質問を意図的に行う。このようなやり取りを通して、相手の答えや自分のことについて伝えたことに、どのように関連した質問を付け加えることが

できるか考えさせ、生徒同士のやり取りにつなげる。

② 相手からの質問に対して、情報等を付け加えながら答える力の育成

相手からの質問に対して答える際には、一言で答えるのみにとどまらないよう意識させ、関連する内容を付け加えることができるように指導する。そのために、ALT と教師や生徒同士のモデルとなるやり取りを提示し、相手からの質問に対して、どのように情報等を付け加えながら答えているかに気付かせ、生徒同士でのやり取りにつなげる。また、生徒がやり取りした内容について、ALT や教師が関連する質問を行い、それについて答えることを繰り返しながら、情報等を付け加えるための語句や表現のバリエーションを徐々に増やしていく。

③ 既習表現を活用する力の育成

帯活動における Small Talk や教師と生徒、生徒同士のインタラクションを多く取り入れ、既習表現を活用し、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。その際、教師は、生徒の発話にしっかりと耳を傾け、適切な言語使用について具体的にフィードバックすることで、徐々に正確さを高める指導を行う。

5 単元の目標

お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて事実や自分の考え、気持ちなどを、即興で伝え合うことができる。

<目指す生徒の姿>

A : I like Ren Meguro. He is good at singing. Do you know him?

B : Yes, I do. He is very cool.

A : He is a member of Snow Man. Do you know Snow Man?

B : Yes, I do. I watch them on TV. How about you?

A : I watch them on TV, too. They are interesting.

B : I think so, too. Which Snow Man song is your favorite?

A : I like "Brother Beat".

B : I like that song, too.

A : Oh, I see. I like listening to their songs. Do you like listening to their songs?

B : Yes, I do.

A : Why don't we listen to them together?

B : Sounds great.

6 単元における評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識> 代名詞（目的格、所有格）や、疑問詞 whose、which を用いた文の構造について理解している。</p> <p><技能> 好きな人物のことにについて、代名詞（目的格、所有格）や疑問詞 whose、which などの簡単な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことにについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。</p>	<p>お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことにについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合おうとしている。</p>

7（単元終了後の）パフォーマンステストについて

(1) 内容

お互いのことをよりよく知り合うために、好きなキャラクターについて、事実や自分の考えや、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。ALT と個別にパフォーマンステストを実施。

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1: 好きなキャラクターについて、即興で事実や自分の考え、気持ちなどを述べている。

条件2: 会話を発展させるために、関連する質問をしている。

条件3: 相手からの質問に対して情報を付け加えて答えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	話題を広げたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしている。	話題を広げたりしながら、3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度の英文で話すことができる。	3つの条件を満たしてやり取りしている。	3つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) パフォーマンステストにおける具体的な生徒の姿(思考・判断・表現)

評価 a	評価 b	評価 c
<p>S : <u>I like Rengoku Kyojuro.</u> <u>He is a character from</u> <u>Kimetsu no Yaiba. 【条件 1】</u> Do you know Kimetsu no Yaiba?</p> <p>T : Yes, I do. We call it Demon Slayer in English.</p> <p>S : Oh, really? Do you like it?</p> <p>T : Yes. I want to watch the movie.</p> <p>S : Me, too. <u>Who is your favorite character? 【条件 2】</u></p> <p>T : I like Zenitsu. Do you like him?</p> <p>S : Yes, I do. <u>He is usually funny, but strong. 【条件 3】</u> <u>What anime do you like? 【条件 2】</u></p> <p>T : I like Attack on Titan. Do you know it?</p> <p>S : No, I don't. <u>What is that? 【条件 2】</u></p> <p>T : I'm sorry. It's Shingeki no Kyojin in Japanese.</p>	<p>S : <u>I like Rengoku Kyojuro.</u> <u>He is a character from</u> <u>Kimetsu no Yaiba. 【条件 1】</u> Do you know Kimetsu no Yaiba?</p> <p>T : Yes, I do. We call it Demon Slayer in English.</p> <p>S : Oh, really? Do you like it?</p> <p>T : Yes. I want to watch the movie.</p> <p>S : Me, too. <u>Who is your favorite character? 【条件 2】</u></p> <p>T : I like Zenitsu. Do you like him?</p> <p>S : Yes, I do. <u>He is usually funny, but strong. 【条件 3】</u></p>	<p>b を満たしていない</p>

8 単元指導計画・評価計画(全6時間)

時数	ねらい(■)・主な言語活動等(丸数字)	評価			評価方法
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>①好きな教科について、ペアで伝え合う。</p> <p>②ALT と JTE のやり取りを通じて、あいづちを打ったり、確認したりしながら会話を継続させることを確認する。</p> <p>③②のポイントを踏まえ、再度好きな教科について伝え合う。(動画撮影)</p> <p>A : <u>I like science. It's interesting.</u> Do you like science?</p> <p>B : No, I don't. I like English.</p> <p>A : <u>Oh, really?</u> I like English, too.</p> <p>B : Why do you like it?</p> <p>A : <u>It's very interesting.</u> I study it every day.</p>				<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけに十分な留意する。</p>

	<p>B : Oh, I see. I listen to English songs every day.</p> <p>A : <u>English songs?</u> <u>That's great.</u></p>			
2	<p>■好きなスポーツ選手について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。</p> <p>①好きなスポーツ選手について、ペアで伝え合う。</p> <p>②教科書の内容理解を通して、代名詞(目的格・所有格)の使い方に気付き、理解する。</p> <p>③ALT と JTE のやり取りを通じて、お互いのことをよりよく知るために、伝える内容に事実や考え等を入れることに気付き、改善する。</p> <p>④③のポイントを踏まえ、再度好きなスポーツ選手について、ペアで伝え合う。</p> <p>A : <u>I like Rui Hachimura.</u> <u>He is cool.</u> Do you know him?</p> <p>B : No, I don't. Who is he?</p> <p>A : He is a basketball player.</p> <p>B : Oh, I see. Is he a good player?</p> <p>A : Yes. <u>He plays in America.</u> <u>I want to watch his games.</u></p> <p>B : Oh, really?</p>			
3	<p>■持ち物について、質問したり、答えたりしながら、ペアで伝え合う。</p> <p>①写真や実物を見て、持ち物について、教師と生徒がやり取りをした後に、ペアで伝え合う。</p> <p>②教科書の内容理解を通して、疑問詞(whose)の使い方に気付き、理解する。</p> <p>③会話を継続・発展させるために質問したり、答えたりすることを確認する。</p> <p>④③のポイントを踏まえ、再度持ち物について、ペアで伝え合う。</p> <p>A : <u>Whose baseball is this?</u></p> <p>B : It's mine.</p> <p>A : <u>Do you play baseball?</u></p> <p>B : Yes, I do. I play it every day at school. I like it very much. Do you like baseball?</p> <p>A : <u>Yes, but I don't play it.</u> <u>Who is your favorite baseball player?</u></p> <p>B : I like Ohtani Shohei. He is cool.</p>			
4	<p>■好きな季節について、質問したり、相手からの質問に対して、情報を付け加えたりしながら、ペアで伝え合う。</p>			

記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

	<p>①好きな季節について、ALT と JTE のやり取りを聞き、その後、ペアで伝え合う。</p> <p>②教科書の内容理解を通して、疑問詞 (which) の使い方に気付き、理解する。</p> <p>③ALT とJTEのやり取りを通じて、会話を発展させるために、相手からの質問に対して情報を付け加えることに気付き、確認する。</p> <p>④③のポイント踏まえ、再度好きな季節についてペアで伝え合う。</p> <p>A : <u>Which do you like, summer or winter?</u></p> <p>B : I like winter. I am good at snowboarding.</p> <p>A : Oh, I see.</p> <p>B : How about you?</p> <p>A : <u>I like summer. We have summer vacation. And we can swim in the sea.</u></p> <p>B : That's good. Where do you swim?</p> <p>A : <u>I go to Matoba beach. It's very beautiful.</u></p>				
5	<p>■好きな歌手について、関連する質問をしながらペアで伝え合う。</p> <p>①好きな歌手について、教師と生徒のやり取りを聞き、その後、ペアで伝え合う。</p> <p>②モデルとなるペアを取り上げ、全体で交流しながら、会話を継続・発展させるために、関連する質問をすることに気付き、確認する。</p> <p>③②のポイントを踏まえ、再度好きな歌手についてペアで伝え合う。</p> <p>A : I like Yoasobi. They are very popular singers. Do you know them?</p> <p>B : Yes, I do. I like them, too.</p> <p>A : Oh, really? <u>What song do you like?</u></p> <p>B : I like many of their songs. I sing them at karaoke.</p> <p>A : That's nice. <u>Who is your favorite singer?</u></p> <p>B : I like Ado.</p> <p>A : Me, too. I like listening to her songs. <u>Do you like listening to her songs?</u></p> <p>B : Yes. I listen to them every day.</p>				<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>

<p>6 【本時】</p>	<p>■お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて事実や自分の考え、気持ちなどを、即興で伝え合う。</p> <p>①好きな人物について、ALT と JTE のやり取りを聞き、その後、ペアで伝え合う。</p> <p>②モデルとなるペアを取り上げたり、ALT と JTE のやり取りを聞いたりしながら、会話の継続・発展させるために、必要なことを確認する。</p> <p>③②のポイントを踏まえ、再度ペアで伝え合う。(動画撮影)</p> <p>④単元の学習の振り返り</p> <p>A : <u>I like Ren Meguro.</u> <u>He is good at singing.</u> Do you know him?</p> <p>B : Yes, I do. He is very cool.</p> <p>A : He is a member of Snow Man. <u>Do you know Snow Man?</u></p> <p>B : Yes, I do. I watch them on TV. How about you?</p> <p>A : I watch them on TV, too. <u>They are interesting.</u></p> <p>B : I think so, too. <u>Which Snow Man song is your favorite?</u></p> <p>A : I like “Brother Beat”.</p> <p>B : I like that song, too.</p> <p>A : Oh, I see. <u>I like listening to their songs.</u> <u>Do you like listening to their songs?</u></p> <p>B : Yes, I do.</p> <p>A : <u>Why don't we listen to them together?</u></p> <p>B : Sounds great.</p>	○	○	○	<p>観察 動画撮影 振り返りシート</p>
<p>後日</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	○	○	○	<p>観察 動画撮影 振り返りシート</p>

9 本時について

(1) 本時の目標

お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて事実や自分の考え、気持ちなどを、即興で伝え合うことができる。

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準
知識・技能	<p><知識> 代名詞(目的格、所有格)、疑問詞 whose、which を用いた文の構造について理解している。</p> <p><技能> 好きな人物のことにについて、代名詞(目的格、所有格)や疑問詞 whose、which などの簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>
思考・判断・表現	お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことにについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことにについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合おうとしている。

(3) 具体的な生徒の姿(思考・判断・表現)

評価 a	評価 b	評価 c
A : <u>I like Ren Meguro. He is good at singing.</u> 【条件 1】 Do you know him? B : Yes, I do. He is very cool. A : He is a member of Snow Man. <u>Do you know Snow Man?</u> 【条件 2】 B : Yes, I do. I watch them on TV. How about you? A : I watch them on TV, too. <u>They are interesting.</u> 【条件 3】 B : I think so, too. <u>Which Snow Man song is your favorite?</u> 【条件 2】 A : I like “Brother Beat”. B : I like that song, too. A : Oh, I see. I like listening to their songs . <u>Do you like listening to their songs?</u> 【条件 2】 B : Yes, I do. A : <u>Why don't we listen to them</u>	A : <u>I like Ren Meguro. He is good at singing.</u> 【条件 1】 Do you know him? B : Yes, I do. He is very cool. A : He is a member of Snow Man. <u>Do you know Snow Man?</u> 【条件 2】 B : Yes, I do. I watch them on TV. How about you? A : I watch them on TV, too. <u>They are interesting.</u> 【条件 3】 B : I think so, too. <u>Which Snow Man song is your favorite?</u> 【条件 2】 A : I like “Brother Beat”. B : I like that song, too. A : Oh, I see. I like listening to their songs . <u>Do you like listening to their songs?</u> 【条件 2】 B : Yes, I do. A : <u>Why don't we listen to them</u>	b を満たしていない

<p><u>together?</u> 【条件2】</p> <p>B : Sounds great.</p> <p>A : <u>Who is your favorite singer?</u></p> <p>【条件2】</p> <p>B : I like Mrs. GREEN APPLE. Do you like them?</p> <p>A : Yes. <u>What's your favorite song?</u> 【条件2】</p> <p>B : I like "Que sera sera" .</p> <p>A : Sounds great.</p>	<p><u>together?</u> 【条件2】</p> <p>B : Sounds great.</p>
---	--

(4) 本時の指導過程と評価

学習活動	○指導上の留意事項 (◆教師の支援)	◎評価規準 (評価方法)
<p>1 あいさつ</p> <p>2 Teacher Talk</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p>	<p>◆JTE とALTのやり取りを聞く。 その後、JTE と ALT が生徒とやり取りをしながら、本時の言語活動につなげる。</p>	
<p>お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて事実や自分の考え、気持ちなどを、即興で伝え合うことができる。</p>		
<p>4 Pair Talk を行う。[1回目]</p>	<p>○好きな人物について伝え合う。</p> <p>◆やり取りが難しい生徒には、JTEとALTが既習事項を示したり、表現シートを活用することで支援する。</p> <p>○やり取りの後に、伝えなかったこと(事実、自分の考えや気持ち)などを交流する。</p> <p>○関連する質問をしながら、会話を発展させている情報を付け加えているペアを取り上げ、全体で交流する。</p> <p>◆疑問詞を示すことで、関連する質問に活用できることを確認する。</p> <p>◆伝えなかったことを表現できるように、表現シートを活用した</p>	

	り、JTEとALTが支援したりする。	
5 Pair Talkを行う。[2回目]	○4のことを踏まえ、好きな人物について、別のペアで伝え合う。	
6 JTEとALTのデモンストレーションを聞く。	○2つの会話(JTEとALT、ALTとALT)を聞き、比較させ、どちらの会話がお互いのことをよりよく知ることができているか、考え、確認する。 ・関連する質問をしている。 ・相手からの質問に対して、情報を付け加え、答えている。 ・話題を広げている。 (内容面と言語面)	
7 再度 Pair Talkを行う。[3回目]	○これまで学習してきたことを踏まえ、別のペアで好きな人物について伝え合い、動画を撮影する。	◎代名詞(目的格、所有格)、疑問詞 whose、which を用いた文の構造について理解している。 ◎好きな人物のことに、代名詞(目的格、所有格)や疑問詞 whose、which などの簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。 【知識・技能】 (観察・動画) ◎お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことに、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合っている。 【思考・判断・表現】

		<p>(観察・動画)</p> <p>◎お互いのことをよりよく知り合うために、好きな人物のことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合おうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(観察・動画・振り返りシート)</p>
8 振り返りシートを記入する。	○本時の目標を踏まえて、第1次で撮影した動画を視聴し、できるようになった点と改善点について振り返りを行う。	
<p>【本時の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の目標は達成することができました。質問の仕方によって話題が続いていたり、より相手のことを知ることができたりすることが分かりました。 ・“Do you like ~ ?” と尋ねるより、“Who is your favorite singer?”と聞かれたほうが会話が広がっていくことが分かりました。 <p>【単元の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に撮った動画と比べると、最初はとにかく会話を続けようと思っていたけど、質問に自分のことを付け加えることや、what、who、which などを使って質問することで、会話を広げていくことで、友達の情報をよく知ることができました。 ・たくさん練習もしたので、迷った時も焦らず聞き返し、自信が持てるようになりました。相手の情報を引き出すために、会話が広がるような質問ができないときがあるので、習った疑問詞をしっかり復習したいと思いました。 		
9 あいさつ		